

## 配置図



直角座標法の面積表を作成する方法を教えてください。



「表」メニューの「直角座標法敷地面積表」で作成できます。

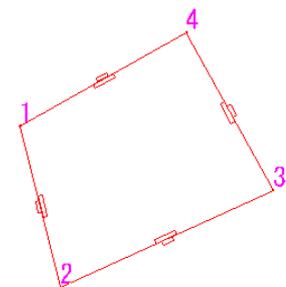
敷地面積(直角座標法)				
番号	X座標(m)	Y座標(m)	X(n+1)-X(n-1)	倍面積(m <sup>2</sup> )
1	16.380	14.560	-16.208	-235.988480
2	6.087	17.133	-4.119	-70.570827
3	12.261	30.508	16.208	494.473664
4	22.295	25.025	4.119	103.077975
基準	6.370	10.010	倍面積計	290.992332
敷地面積(m <sup>2</sup> )				145.49

1 「表」メニューから「直角座標法敷地面積表」を選びます。

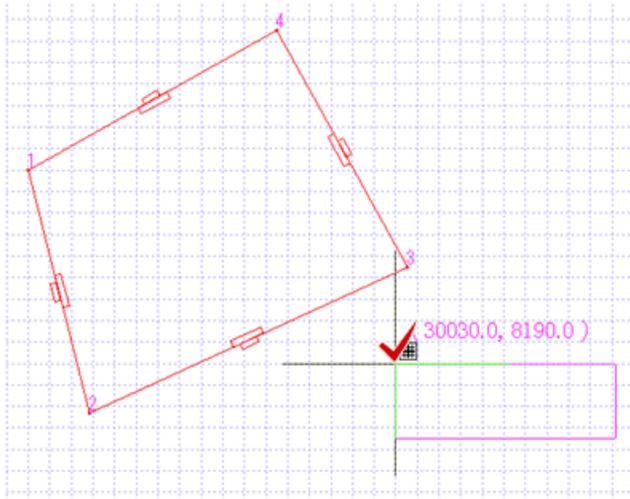


2 敷地座標入力をしたときの基準点をクリックします。  
※ 基準点がわからない場合は任意の点をクリックします。

3 各点のX座標、Y座標を確認し「XY座標変換」をONにして、「OK」をクリックします。  
※ 基準点がわからない場合や、敷地を移動、回転をしている場合は座標値が変わるため手入力してください。



# 4 表の配置位置をクリックします。



敷地面積(直角座標法)				
番号	X座標(m)	Y座標(m)	X(n+1)-X(n-1)	倍面積(m <sup>2</sup> )
1	16.380	14.560	-16.208	-235.988480
2	6.087	17.133	-4.119	-70.570827
3	12.261	30.508	16.208	494.473664
4	22.295	25.025	4.119	103.077975
基準	6.370	10.010		290.992332
敷地面積(m <sup>2</sup> )				145.49



- 敷地座標入力をするときの座標値が入力範囲を超えて設定していると、相対座標に置き換わります。座標値が変わるため、表の座標値は手入力する必要があります。
- 「表」メニューの「敷地座標法」で作成した敷地座標を選択しても、直角座標法の敷地面積表を作成できます。

敷地座標		
番号	X座標(m)	Y座標(m)
1	14.560	16.380
2	17.133	6.087
3	30.508	12.261
4	25.025	22.295
基準	10.010	6.370

敷地面積表(直角座標法)

敷地座標

番号	X座標(m)	Y座標(m)	X(n+1)-X(n-1)
1	16.380	14.560	-16.2
2	6.087	17.133	-4.1
3	12.261	30.508	16.2
4	22.295	25.025	4.1

倍面積 計 290.992332 (m<sup>2</sup>)

面積 計 145.49 (m<sup>2</sup>)

Y座標差分で計算     方位考慮     敷地  
 XY座標変換

敷地面積(直角座標法)				
番号	X座標(m)	Y座標(m)	X(n+1)-X(n-1)	倍面積(m <sup>2</sup> )
1	16.380	14.560	-16.208	-235.988480
2	6.087	17.133	-4.119	-70.570827
3	12.261	30.508	16.208	494.473664
4	22.295	25.025	4.119	103.077975
基準	6.370	10.010		290.992332
敷地面積(m <sup>2</sup> )				145.49